

令和3年度第3回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議（B班） 会議概要

日時：2022/1/18 9:00～10:20

場所：議会棟 A会議室

出席者：高橋委員、加藤委員、渡辺委員

【議題】 令和2年度施策評価について

基本目標3-（1）結婚・妊娠・出産・子育てまでの継続的支援

（委員からの意見）

・母子手帳交付の際は、実際に会って話すことが大事。早期に特定妊婦を把握できる。乳幼児全戸訪問においても、面談というのはすごく重要である。面談を通じて信頼感を得ることができ、親も相談しやすくなる。リモートだと把握できないこともあり、コロナ禍とはいえ、リモートに変えることは非常に難しいと思う。

・乳幼児全戸訪問は、児童虐待の未然防止にも大変重要な事業である。訪問希望のなかった家庭に対しては、特に継続的に状況を見守り支援の必要性を見極めていくことが大事。

（評価）

「2. ほぼ順調」とする。

基本目標3-（2）子育て世帯への支援の充実

（委員からの意見）

・父親がリモートで在宅勤務をしている状況に対して、「とても助かる」という家庭と「邪魔になるだけ」という家庭とで、明暗が分かれている。祖父・祖母がコロナ禍で面倒をみに来られないっていう方も多いので、父親の家庭での動き方が大事である。父親対象のイベントが何もできてないっていうのは残念。男性の方が仕事でリモートに慣れているだろうから、オンラインセミナーを開催するなど、コロナ禍だからこそ積極的に実施してほしい。

・男性と女性を分けての育児セミナーを実施してはどうか。男性向けでは「奥さんをどうやって喜ばすか」をテーマに、女性向けでは「旦那さんに上手くうごいてもらう方法」をテーマにすると面白いのではないか。

・2人目の子を産んだ親に特化した育児セミナーを実施してはどうか。新生児訪問をすると、2人目を産んだ家庭で相談されるのは赤ちゃんではなくて上の子についてがほとんどである。上の子との向き合い方を間違えると虐待にも繋がってしまう。子どもをたくさん産んでもらう意味でも、2人目以降を産みやすい環境づくりに力を入れる必要がある。

（評価）

「2. ほぼ順調」とする。

基本目標 3－(3) 安心して学べる教育環境づくり

(委員からの意見)

・コロナ禍でリモート学習の機会が増え、子ども達が家にいる時間が多くなっている。それに伴い、ヤングケアラーの問題が出てきており、常態化すると、引きこもりに発展するケースも考えられる。子ども達の悩み相談を受ける体制をしっかりとつくってほしい。

(評価)

「3. 順調とはいえない」とする。

基本目標 4－(1) 健康づくりの推進

(評価)

「2. ほぼ順調」とする。

基本目標 4－(2) 生活環境の充実

(委員からの意見)

・市民バスについては、進捗状況は遅延であるものの、コロナ禍において運行を継続したことは高く評価できる。

(評価)

「2. ほぼ順調」とする。

基本目標 4－(3) 行財政運営の効率化

(委員からの意見)

・市民バスについては、進捗状況は遅延であるものの、コロナ禍において運行を継続したことは高く評価できる。

(評価)

「2. ほぼ順調」とする。

基本目標 4－(4) 地域力の向上

(委員からの意見)

・最近のニュースを見ると、子ども食堂から地域コミュニティの活性化に繋がっているケースが見受けられる。地域会議の場において子ども食堂への働きかけがあると良いのではないか。

(評価)

「2. ほぼ順調」とする。